

世界史 授業 No.99 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ジャコバン派の崩壊とはどういうものか？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 158）の中から見つけよう！

国民公会では、都市の（ 1 ）と結んだ急進的なジャコバン派が力を増し、1793年1月にルイ16世を処刑した。革命が自国に波及することを警戒したイギリスは（ 2 ）を結成し、フランス国内では農民反乱が広がるなど、国の内外に危機が強まった。これに対し、（ 3 ）を中心とするジャコバン派政権は、強大な権限をにぎる公安委員会を中心に、（ 4 ）を決めるなど急進的な施策を強行する一方、数多くの反対派を（ 5 ）で処刑した（恐怖政治）。しかし外部勢力を撃退して危機が遠のくと、農民や市民層は保守化し、独裁への不満がしだいに高まった。やがて（3）らはパリ（1）の支持も失って孤立し、1794年に逮捕・処刑された。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ジャコバン派の崩壊とはどういうものか？」

T. A.

ジャコバン派は封建的貢租の無償廃止を宣言したが[①]が土地を得て保守化し、[②]令などの統制経済に商工業者は反発した。政治ではグループ独裁から[③]が個人独裁を開始した。戦時体制であるとして国民は[④]政治を受け入れていたが、戦況が好転すると国民の不安や反感が強くなり1794年7月、[⑤]のクーデタでとうとうジャコバン派も崩壊した。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []